

ピンチを
チャンスに

秋元市政下で自民党議員会の政策が実現着々!!

—数々の提言・提案に市民から高い評価—

日頃の議会活動や中央政界への要請活動など、自民党議員会の政策実現力は著しいものがあります。厳しい環境下にありながらも、ピンチをチャンスに変えようという懸命の努力の結果、私たち自民党議員会の主張が市政に反映されるケースが相次ぎ、市民からは高い評価を受けています。

5月には、自民党議員会が秋元克広札幌市長に対して「市政課題に対する重点要望」を提出し、必要な措置を強く要請しました。その結果、総額288億円の平成27年度補正予算に多くの要望事項が盛り込まれ、山積する市政課題の解決に向け大きく前進しました。

最大会派として影響力を発揮 大活躍中の議員会メンバー25人

春の札幌市議会議員選挙で当選した自民党議員会(三上洋右会長)の同志25人が、全身全霊を傾けて活動中です。各会派のうち最多数を占め、友党・公明党議員会と合わせると、68人の定員のうち過半数を超え、大きな影響力を発揮しています。

▼札幌市議会会派の構成

会派名	議席数(定数68人)
自民党議員会	25人(うち新人4人)
民主党・市民連合議員会	21人
公明党議員会	10人
日本共産党議員団	8人
改革	2人
市民ネットワーク北海道	1人
維新の党	1人

会派代表質問

市政課題に真摯に向き合い 市理事者の見解を厳しくたずな

自民党議員会は、多くの市民の皆さまから負託を受けた市議会最大会派として、責任ある立場から定例市議会ごとに代表質問を行ってきました。平成27年第2回定例会から第4回定例会までの質問骨子は、以下のように多岐にわたっています。

[2]定代表質問

1、市長の政治姿勢

- (1) 将来に向けた札幌市の方向性
 - ①人口減少問題への対応②都市計画と公共交通の方向性
- (2) 経済・観光対策
 - ①若者の雇用対策②観光総合戦略

2、スポーツを通じたまちづくり

- (1) 冬季オリンピック・パラリンピック招致活動
- (2) スポーツ行政の方向性

3、教育行政 (1) 国旗・国歌に対する認識 (2) 教育行政に対する姿勢

4、少子化・福祉政策

- (1) 医療費助成など少子化対策 (2) 生活保護不正受給防止 (3) 地域包括ケアの推進
- 5、雪対策 (1) 生活道路の除排雪 (2) 大規模融雪槽の設置検討 (3) 除雪を担う企業の支援
- 6、エネルギー施策 (1) 電気料金の動向と影響 (2) 市エネルギービジョンの取り組み
- 7、市役所改革 (1) 改革の基本方針 (2) 職員の士気高揚対策と女子職員の登用

[3]定代表質問

1、財政問題と行財政改革 (1) 財政指標・目標数値の設定 (2) マイナンバー制度導入に伴う姿勢

2、人口減少対策 (1) 経済界との連携 (2) 学生の流出防止 (3) 戦略ビジョンの見直し

3、都市計画マスタープラン

4、北海道新幹線のホーム位置問題

5、冬季オリンピック・パラリンピック招致

- (1) 誘致実現に向けた今後の方針 (2) 札幌ドーム周辺のまちづくりと交通対策

6、ゲリラ豪雨や水防法改正などを踏まえた浸水対策

7、札幌丘珠空港の路線就航と定期便化

8、学力に対する認識と主権者教育

[3]定代表質問(補充)

1、企業育成と経済活性化 (1) 入札制度の改善 (2) 企業誘致

2、観光産業の推進 (1) 経済効果と将来展望 (2) 観光と産業支援策全体の整合性

3、「創造都市」の取り組み (1) 概念と事業内容 (2) 国際芸術祭の方向性

4、「環境都市」の取り組み (1) 高齢化に向けたごみ収集 (2) 身近な公園整備

5、超高齢社会に対応したまちづくり (1) 高齢者の社会参加 (2) 認知症予防と早期発見の取り組み

6、市民自治 (1) 市民自治に対する認識 (2) まちづくりセンターの方向性と自主運営制度

7、子どもの育児・育成環境 (1) 出産後の育児サポート (2) 子どもの貧困対策

[4]定代表質問

1、市長の政治姿勢

- (1) 市役所の組織改編 (2) 道外からの人材流入 (3) 「ウインタースポーツ都市」の方向性とテロ対策 (4) 市街地調整区域における土地利用と公共交通サービス (5) 太陽光発電と再生エネルギー関連事業

2、札幌市強靱化計画

3、札幌独自の子育て施策

4、市電ループ化に伴う安全対策

5、「さっぽろ芸術文化の館」の跡地利用

6、動物愛護条例制定と動物愛護センター新設

7、教育現場における政治的中立性の確保



市民の声を届け、課題解決に 全力で取り組む新生自民党

自民党議員会として新市長に 「市政課題に対する重点要望」を提出

要望項目は、①さらなる発展に向けた都市づくり推進②産業育成、若者の雇用促進、国際ウインタースポーツ都市の実現、文化芸術の環境整備、観光振興③女性が子育てと仕事が両立できる社会環境の構築④高齢化の進展、生活困難者の急増に対応した社会の実現⑤ごみ収集や緑化、除排雪のレベルアップなど快適な都市環境の創出⑥子どもの学力や体力の増強、特別支援教育やいじめ対策の強化⑦行財政健全化の推進、行政サービスの向上—などです。



質問、提言、意見書など、活発な議会活動で他会派を圧倒

その後も定例市議会や各種委員会において質問や提言を行い、「地方財政の強化」「農林水産業の輸出促進」「国保減額調整措置の見直し」「認知症への取り組み強化」「地方創生に係る新型交付金等の財源確保」などに関する意見書を提出、可決させました。



各地域や業界団体からの要望を受け、 新年度予算編成に向けて政策提言

10月の団体要望懇談会では、経済、建設、教育、医療、観光、1次産業の団体代表者から要望を受け、新年度予算編成に反映させるよう市に政策提言を行いました。



市単独では難しい事業や国の支援が必要な 事業の予算確保を中央陳情し、 国とのネットワークをしっかりとつなぎます

12月には中央省庁や党本部に対し、国への重点予算要望を実施しました。要望事項は、①冬季オリンピック・パラリンピック招致と2017冬季アジア大会開催支援②北海道新幹線札幌延伸の早期完成③積雪寒冷地における都市機能の充実④自立分散型エネルギーネットワークの構築⑤都心アクセス道路の早期実現⑥国際集客交流の促進⑦国土強靱化と丘珠空港の防災拠点化⑧子ども・子育て支援の充実—の8項目です。

さまざまな場面で自民党が最大会派としての存在感を示した1年でしたが、平成28年も引き続き、議員会一同、市政課題の解決に向け、力を合わせて活動を続けていきます。

